

科目名	テクニカルヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉原 道則
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日1, 2限 火曜日3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師が、応用、舞台映えるヘアーの知識、技術について授業を展開し、卒業制作発表会の監修、レクチャー、サポートを行う							
＜講師経歴＞ 美容師免許取得後、ヘアサロンで美容師として勤務していた。その後セットサロン、ヘアメイク事務所に所属。様々なヘアメイク現場で活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
幅広い応用技術を身につけ、2年間培ってきた知識技術や、デザイン力、センス、コミュニケーション能力を卒業制作発表会にて発揮することが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	応用ヘアー技術の習得 ヘアースタイルの展開図、構成の更なる理解を深める						
2	応用ヘアー技術の習得 ヘアースタイルの展開図、構成の更なる理解を深める						
3	応用ヘアー技術の習得 ヘアースタイルの展開図、構成の更なる理解を深める					小テスト10点	
4	ヘアースタイル模写 写真から汲み取れる情報をもとに形にする力						
5	ヘアースタイル模写 写真から汲み取れる情報をもとに形にする力						
6	中間テスト ヘアー模写スタイル これまでの授業内容の理解、習得度の確認					中間テスト20点	
7	舞台映えるヘアースタイル応用技術の習得						
8	舞台映えるヘアースタイル応用技術の習得						
9	舞台映えるヘアースタイル応用技術の習得						
10	卒業制作発表会 導入 チーム分け 世界観をしっかりと伝えることができる作品づくりに ついての知識を習得					小テスト10点	
11	卒業制作発表会 試作開始 多数の意見をまとめる 発表会全体の構成を理解する						
12	卒業制作発表会 場あたり 照明 演出などを考える						
13	卒業制作発表会 場あたり 照明 演出の決定 冬休み中に進行すべき作業の確認						
14	卒業制作発表会 ヘアーメイク、衣装仕上がり 当日通りの動きを確認						
15	定期テスト 卒業制作発表会 ヘアーメイク、衣装仕上がり、ランスルー					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	テクニカルヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関 亜沙美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
				曜日・時間		火曜日1, 2限 火曜日3, 4限	
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
メイクアップに関わる者として必要である化粧品やメイクアップの起源、歴史を調べ、学び、必要なメイクアップの知識とテクニックを身につける。							
〈教員経歴〉 美容室で美容師として勤務後、メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間以上携わる。また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターもおこない、ヘッドスパサロンでセラピストとしても20年勤務。アイブロウサロンのメイクアップ教育も務める。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各年代の時代背景、メイクアップの流行を把握し、現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを駆使し、応用させて1920年代、1950年代、1960年代、1970年代、各年代のメイクアップパターンを理解し、時代の雰囲気表現、また左右対称の仕上がりを目標に、テクニックを向上させる。また『歴史は繰り返す』を念頭に、近現代に於ける年代別の時代背景(社会の情勢)と様々な出来事、その時代に流行ったメイクアップ、風俗、ファッションやヘアスタイル、カルチャー、音楽、映画やその時代を代表する人物などを知り、各時代の雰囲気を捉えた上で、知識とメイクアップテクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 iPad 筆記用具 年代別メイク専用ファイル				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物などについてレポート提出			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ等レクチャー 映画鑑賞&感想文					レクチャーメモ・感想文提出	
2	1920年代の時代背景と流行の メイクアップ 等を理解 把握する 映画鑑賞 & 感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
3	デモストを見聞し1920年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
4	実技を通して1920年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
6	デモストを見聞し1950年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
7	実技を通して1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
8	中間試験					相モデルにてフルメイク 20点	
9	1960年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
10	デモストを見聞し1960年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
11	実技を通して1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
12	1970年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
13	デモストを見聞し1970年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
14	実技を通して1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
15	定期試験					相モデルにてフルメイク 60点	
【特記事項】 授業の構成上、通常は中間試験を7回目に行いますが、年代別メイクの授業では8回目に行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	テクニカルヘアメイクⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大海 いくみ
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日1, 2限 火曜日3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師から各テイスト別で 様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。							
〈講師経歴〉 外資系化粧品ブランドで勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中							
【授業を通じての到達目標】							
卒業制作を着地点に設定し、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	2022awtトレンドメイクを学び、技術を習得する					小テスト5点	
2	2022awtトレンドメイクを学び、技術を習得する						
3	クリエイティブメイク(変形アイライナー)を学び、技術を習得する						
4	クリエイティブメイク(配色)を学び、技術を習得する					小テスト5点	
5	クリエイティブメイク(ボディメイク)を学び、技術を習得する						
6	クリエイティブメイク(ピグメント)を学び、技術を習得する						
7	中間テスト 時間内にフルメイクを完成させる					中間テスト20点	
8	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
9	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					小テスト5点	
10	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
11	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
12	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					小テスト5点	
13	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
14	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
15	定期試験 時間内にフルメイクを完成させる					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	テクニカルヘアメイクⅢ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	福島 裕司
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日1, 2限 水曜日3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
メイクアップの解説、伝達ができるようになる。							
〈教員経歴〉 化粧品ブランドでメイクアップアーティストとして実務。メイク技術ならびに化粧品知識の教育業界における教授に長く携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
完成させたメイクをステップ毎に説明出来る様になる。自身の施したメイクのプレゼンテーションができる様になる。ポイントメイクのタッチアップができる様になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	フェイスチャートの描き方						
2	フルメイク、フェイスチャート						
3	フルメイク、フェイスチャート						
4	フルメイク、フェイスチャート、ステップの解説文					5	
5	フルメイク、フェイスチャート、ステップの解説文						
6	描いたフェイスチャートを相モデルで交換し、指示通りにフルメイク					5	
7	描いたフェイスチャートを相モデルで交換し、指示通りにフルメイク						
8	中間テスト メイク実技、フェイスチャート、時間内仕上げ					20	
9	ポイントメイクのリタッチ法						
10	ポイントメイクのリタッチ法						
11	お客様のお悩みに応じた提案、ポイントメイクリタッチ						
12	お客様のお悩みに応じた提案、ポイントメイクリタッチ					5	
13	お客様のリクエストに応じた提案、フルメイク						
14	お客様のリクエストに応じた提案、フルメイク					5	
15	定期試験(フルメイク、タイム取り)					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	福島 裕司
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク基礎知識に加え、様々なジャンルを知り、現場や作品作りで応用力を身につける							
〈教員経歴〉 化粧品ブランドでメイクアップアーティストとして実務。メイク技術ならびに化粧品知識の教育業界における教授に長く携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
メイク基礎知識に加え、様々なジャンルを知り、現場や作品作りで応用力を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	テーマ別① 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
2	テーマ別①撮影会					小テスト4点	
3	テーマ別② 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
4	テーマ別② 撮影会					小テスト4点	
5	定期試験テーマ別撮影会の各自テーマを考え、作品を構成する						
6	コンセプトシートに沿って時間内にヘアメイクを完成させ構成の最終確認を行う						
7	各自作品の構成を考え計画を立てながら自分の作品を完成させる					中間テスト20点	
8	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
9	トレンド別 撮影会					小テスト4点	
10	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
11	トレンド別 撮影会					小テスト4点	
12	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
13	トレンド別 撮影会					小テスト4点	
14	定期テスト撮影会へ向けて各自テーマを考え、作品を構成する						
15	コンセプトシートに沿って時間内にヘアメイクを完成させ構成の最終確認を行う					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石渡 尚子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜日1限 木曜日4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようになる ※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う							
<教員経歴> 長年美容業界に従事していた有識者。							
【授業を通じての到達目標】							
・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気づき、相手に的確に伝えることが出来るようになる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	後期スケジュール確認・卒業前目標決め						
2	社会人基礎ノート①(第一印象と色の知識)						
3	社会人基礎ノート② 敬語の復習 (尊敬語、謙譲語、丁寧語)						
4	社会人基礎ノート③ 一般常識(ことわざ)						
5	社会人基礎ノート④《カラーについて・マナー》 色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れることが出来る						
6	社会人基礎ノート⑤《マナー》 接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することが出来る						
7	社会人基礎ノート⑥《話題・コミュニケーション》 自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることが出来る						中間テスト 20点
8	敬語・印象・態度などのマナー 中間テスト(20点満点)						
9	ビジネスマナー①《言葉遣い①》・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることが出来る						
10	ビジネスマナー②《ルール・言葉遣い》 報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることが出来る						小テスト 10点
11	《一般常識》① ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
12	《一般常識》② ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
13	《一般常識》③ ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付け、応用することができる						小テスト 10点
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト(60点満点)						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	オリエンテーション・導入教育Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石渡 尚子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 集中
				曜日・時間	指定期間		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期の学習のイメージをつけることができる <教員経歴> 美容業界で活躍後、本校職員として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プロント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール確認 【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について・教材理解・教科書理解 【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	クリエイティブヘアメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉原 道則
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 身につけた技術・センスを基にオリジナル作品を制作する <講師経歴> 美容師免許取得後、ヘアサロンで美容師として勤務していた。その後セットサロン、ヘアメイク事務所に所属。様々なヘアメイク現場で活躍している。							
【授業を通じての到達目標】 より多くのギャラリーに作品を見られる経験をすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 毎授業時に配布				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 ・前期実施した内容を振り返り、自己の課題を明確にする ・課題に基づき相モデルにてヘアアレンジ・メイクを実践する ・発表本番を想定し、シュミレーションを実施する						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 作品発表制作 【到達目標】 課題に基づき求めるヘアアレンジとメイクが実践できる						
10							
11							
12							
13							
14							
15	【授業単元】 作品発表						
【特記事項】				【評価について】 ●振り返りシートおよび指導評価により、100点満点にて評価する ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	特別講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石渡 尚子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
						曜日・時間	金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
業界で活躍する本校卒業生の講話を受け、業界での業務内容や労働環境を理解する <教員経歴> 長年美容業界に従事していた有識者。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後の目標を明確にし、専門分野でのデビューがスムーズになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 オリエンテーション						
2	【到達目標】 特別講座についての説明 事前準備						
3	【授業単元】 業界で活躍中の卒業生の講演						
4	【到達目標】 専門分野の詳しい業務内容や労働環境などを知ることができる						
5							
6	【授業単元】 卒業後の目標を立てる						
7	【到達目標】 卒業後の目標を明確し、デビューがスムーズになるようプロとしての心構えを持つことができる						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名	ファイナンシャル研修	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石渡 尚子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識のレクチャーを受ける							
<教員経歴> 長年美容業界に従事して、本校職員としても指導している。							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 本講座について説明						
2	【到達目標】 事前準備						
3	【授業単元】 税金・社会保険について						
4	【到達目標】 各種税金の内容について知る						
5	各種社会保険の仕組み、内容について知る						
6	【授業単元】 確定申告について						
7	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る						
8							
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて						
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			